

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
3 1 年 第 3 号	3 1 . 3 . 6	<p>重症心身障害児・者の医療充実を求める請願</p> <p>身体障害と知的障害およびてんかんを併せもつなど、重症心身障害がある子どもや障害者にとって、日々の医療や救急医療は欠かすことのできない問題である。</p> <p>しかし、多くの医療従事者や関係者の努力にもかかわらず、緊急入院が必要となった場合、対応できる医療機関を探すのに苦勞している。また、退院後のリハビリ回数を増やしたいとしても、受け入れ態勢の面から希望が叶わないこともある。また、子ども病院などは原則 18 歳までとされており、19 歳、20 歳と成長の段階に応じた切れ目のない医療の提供が望まれる。</p> <p>重症心身障害児・者への医療は採算に合わない面も多く、とりわけ行政の支援が欠かせない。</p> <p>よって、財政面でも、医療人材を確保する面からも県の取り組みが発展することを切に要望し、下記事項を請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 重症心身障害児・者への医療体制を充実すること。そのために必要な予算を拡充すること。</p> <p>2 県立 3 病院の役割を堅持し、診療科目の増設や外来・入院・リハビリなどの受け入れ態勢を拡充 すること。</p>	個人	山 中 たい子 江 尻 加 那 玉 造 順 一	保健福祉 医療	不採択